

<h2 style="text-align: center;">旧杵島炭坑大鶴鉱業所第二坑口</h2> <p style="text-align: center;">～国指定登録文化財～</p>	分野 産業
	地域 肥前
<p>旧杵島炭坑大鶴鉱業所第二坑口は、石炭搬出のため建造されたもので、コンクリート造りで、坑門と約7メートルの坑道からなる。</p> <p>当地の炭鉱開発は明治初期に始まるが、昭和9年に香春鉱業株式会社の経営となり、さらに昭和11年に杵島炭坑株式会社に買収され、杵島炭坑大鶴鉱業所となり、本格的な採掘が行われるようになった。</p> <p>昭和32年に閉山し、関連施設のほとんどが無くなった現在、往時の炭鉱施設の一端を今に伝える構造物である。</p> <p>国登録文化財 旧杵島炭坑大鶴鉱業所第二坑口（きゅうきしまたんこうおおづるこうぎょうしょだいにこうぐち） 登録年月日 平成16（2004）年6月9日 平成16（2004）年6月24日告示 唐津市肥前町 その他工作物</p>	◎地図・写真・統計資料など
	 <p style="text-align: center;">旧杵島炭坑大鶴鉱業所第二坑口 （『佐賀県の文化財』より）</p>
<p>◎エピソード・伝承・うんちく など</p> <p><補足> 登録年月日 2004年6月9日 コンクリート造及び煉瓦造、間口7.0m 1基 年代 昭和11年頃 佐賀県唐津市肥前町大字入野甲1-3 登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの 登録年月日 2004年6月9日</p> <p>※安本末子さんの日記「にあんちゃん」に当時の生活をうかがい知ることができる。 大鶴炭鉱は、唐津市肥前町の北東部に位置していた。 何百棟もの炭鉱住宅に5,000人余りが住み、大きな病院や映画館もあった。</p>	◎引用・参考文献（出典）
	<p>◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p>唐津市近代図書館へ お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</p>